

市政報告

けれども何度も公の場で取り上げておられます。今回、七北田川に並行する和田新田堀（※背面参照）の水位が上昇し、道路への冠水が始まって、排水ポンプを稼働させる担当者が到着せず、周辺住民から不安の声が上がりました。この堀の排水ポンプ（※背面参照）については大雨が予測され、水位の基準を超えた際に速やかに稼働できるように、委託業者が現場で待機する認識でした。しかし、今回、現場に到着した時点で既に、周辺は乗用車が水没するかなんかのライン30cmまで達していた地点を当局も把握している。令和元年東日本台風では市内排水施設の機能不全が目立ったことにより、それ以降、施設の排水機能が十分に発揮できるように、より一層の強化を図って頂くはぜひです。この6月2日、白鳥地区の事案の経過と改善策をお示しくください。

(建設局) 当地区の内水排水ポンプの稼働につきましては、台風などの大雨予測時には、委託業者を事前に待機させていますが、今回のような局所的な降雨時は、和田新田堀の水位を遠隔で確認した上で、委託業者に配備の指示を出しております。6月2日の夜は近傍の消防局高砂分署で、19時30分からの1時間に33.5ミリの強い降雨を観測しました。職員が現場配備基準水位に達したことを確認し、19時55分には、委託業者に雨水排水ポンプの稼働を指示いたしました。その後、20時10分には和田新堀の流下先となる西原雨水ポンプ場のポンプ場が稼働し、20時50分には、白鳥地区の排水排水ポンプも稼働いたしました。水位の上昇が早く道路冠水に至ったものでございます。今回の件を踏まえ、降雨予報と遠隔での水位確認を加え、地域からの情報も生かし、委託業者とも密に調整を図ることと、内水排水ポンプの早期稼働に努めます。



高砂・田子・鶴巻・岡田・福室・中野栄小学校
高砂・田子・高砂・中野中学校
体育館
大型冷風機
第二音楽室・図書室
ルームエアコン
9月頃まで設置予定
8月末迄整備完了予定

来年度
もう1機追加！

仙台市議会第2回定例会が6月25日に閉会しました。仙台市役所本庁舎の建替え工事費の追加など、およそ16億円の補正予算案を含む議案など21件が議決されました。具体的に、市役所本庁舎の建替え工事費が物価高騰で増額することに備え、追加で2億5,600万円余り。単価が上げた「新型コロナワクチン」の接種費用として13億円余り。このほか、仙台市が今年4月に認可した「里親支援センター」を宮城県と市が共同で利用するための運営委託費におよそ4,400万円を計上しております。

【**市役所の建替えって必要なの？**】 現本庁舎の建物の耐用限界を予測したところ、令和11年から令和12年で限界に至ることがわかりました。このことを踏まえ、改修と建替えとの比較検討を行い、以下を理由に本庁舎の建替えを実施しております。

- ① 改修では庁舎の分散化が解消できないこと
- ② 改修後の供用可能期間が不明であり、不確実性を伴うこと
- ③ 長期的には建替えが避けられないこと
- ④ 維持管理費の増加や分庁舎の改修費等が発生し、経済性に乏しいこと

一 一般質問【6月18日】

仙・誘・歴・6・7・西・原・北・月・史・客・台・2・雨・日・水・教・施・港・の・と・書・の・に・ポ・ク・財・の・白・並・ン・ル・源・是・鳥・行・ア・一・確・正・地・す・場・ズ・保・状・区・る・の・船・策・況・冠・和・整・と・水・田・備・誘・致・と・長・案・田・泥・新・状・と・市・事・新・状・と・水・田・備・の・歴・の・含・ま・め・た・ヤ・た・パ・シ・活・性・化・

仙台港へのクルーズ船誘致と周辺活性化

(質問) 残念ながら、今年の仙台北港へのクルーズ船の予定は7回のみ。
仙台北港周辺の経済活性化を視野にクルーズ船を実施して頂きたい。

(文化観光局) クルーズ船の寄港により、多くの乗客の皆様が市内で観光や買い物、食事を楽しまれることから、地域経済の活性化にも大きな効果があるものと認識をしております。今後は、クルーズ船の企画会社に対し、仙台港周辺を含めた本市の魅力を伝える機会を設けるなど、さらに多くのクルーズ船が入港するよう取り組みを進めます。

今年の仙台港のクルーズ船入港予定7回に対し、青森港は40回を予定!!

[illegible]

新本庁舎は令和10年度供用開始



書籍のクルーズ船ターミナル

現在、このエリアの抜本的な対策を行っております。根本的な問題は、このエリアの雨水を仙台湾に排水する西原雨水ポンプ場の能力不足であり、仙台市は複数年にわたり、莫大な予算を計上し整備をしております。ポンプの増設完了予定時期は令和9年度です。

10年破壊隆重(52mm/h)において床上・床下漏水を発生させないための対策。

西原雨水ポンプ場の整備完了後、この防護壁間から流れてくる大量の雨水についても大幅に改善が見込まれます。この施設があることにより、津波浸水深が1m程度減少し建築制限がされております。

西原村ツノ場は、令和9年度を目途に建設予定



(建設局) 白鳥地区において、10年確率降雨を排水するために必要な水路幅は、2.5メートルでございますが、和田新田堀は3メートル以上あることから、現状において十分な能力を有しております。浸水の原因は、流下先である西原雨水ポンプ場の排水能力不足ととらえており、抜本的な浸水対策には、ポンプの増設が不可欠でございます。

仙台市では仙台市公共下水道新基本計画の中で、定め
水道の整備水準を10年確率降雨の雨に対応するよう
まして、1時間当たり52ミリの出針をしております。

関係地域に対し整備状況を含めた対策の説明を求める

(質問) 現在、この莫大な予算をかけても市民には見えずらい、この西原雨水ポンプ場増設の整備中の見学を含め、関係地域に対し、整備の進捗を説明する必要があるかと思えます。

(建設局) 令和 9 年度のポンプ増設完了までは時間を要するため、工事の現場見学会や、この地区の浸水対策事業について説明会を適宜開催し、情報提供に努めます。増設するポンプの供用までの間、大雨時に内水排水ポンプを速やかに稼働させ、浸水を少しでも抑制するとともに、1 日でも早く地域の皆様の安全安心が確保されるよう、工事に鋭意取り組んで参る所存でございます。

和田新田堀(福室～高砂～白鳥～蒲生)から七北田川へ排水する内水排水施設等

